

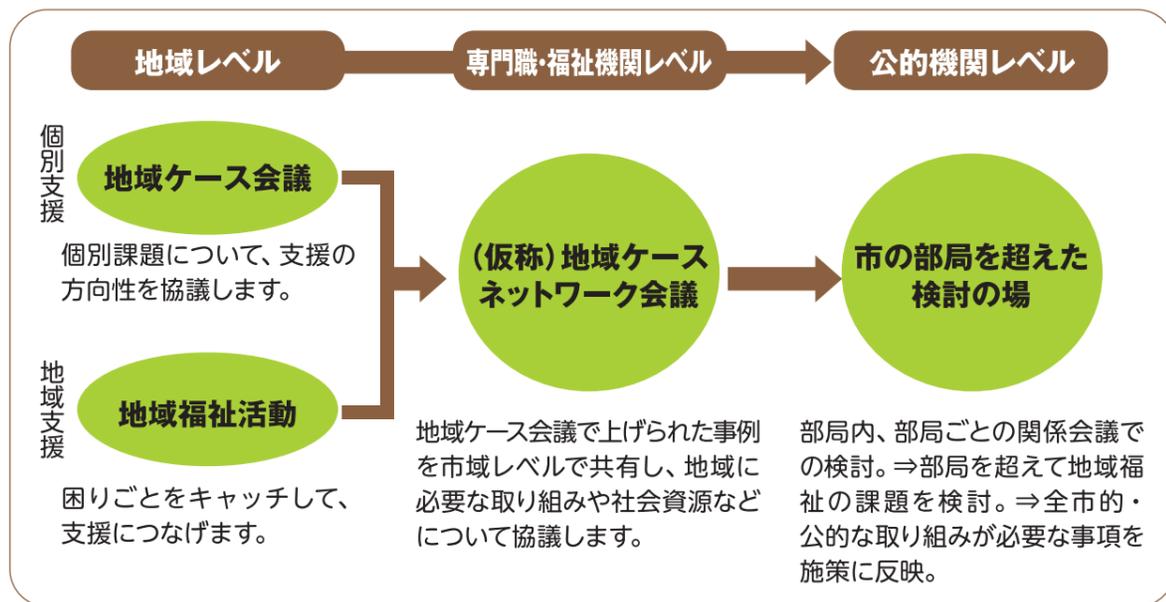
3つの重点的な取り組みを定めました

重点的な取り組み1 全市的な見守り&セーフティネットの構築

あいさつ・声かけ運動の次のステップとして、見守りをはじめとした安否確認、異変の気づき、徘徊の発見、子どもの安全確保などの取り組みに展開できるよう、各校区や団体・機関等の協力により、全市的・重層的なセーフティネットを構築します。

重点的な取り組み2 分野を超えた、地域福祉ネットワークの創設

複雑・多様化する地域課題に対応し、その解決を図るため、縦割り・分野別を超えた、「オール交野の地域福祉ネットワーク」を創設します。



重点的な取り組み3 「おりひめ支え愛プロジェクト」のさらなる推進

災害時の避難行動要支援者支援事業である「おりひめ支え愛プロジェクト」の次の段階として、名簿の定期的な更新作業や、避難支援者の確保、避難訓練の実施、避難マップづくりなどの、地域の特性に応じたより実践的な取り組みをすすめます。また、普段の見守り活動等にもつなげることで、平常時からいざという時まで、安心・安全の支え合いが発揮できるまちづくりをめざします。

着実に計画を推進するために

- 市民、地域や関係団体、福祉事業者、社会福祉協議会等と協働して地域福祉を推進していきます。
- 地域福祉の担い手である市民をはじめ様々な関係団体、福祉事業者、社会福祉協議会、市が共通の理解・認識を持つために、様々な媒体を活用して、本計画の普及とその取り組みの周知に努めます。
- 定期的に「地域福祉計画推進審議会」を開催し、計画の進捗状況の確認等を行います。

※計画書の全文は交野市ホームページに掲載しています。

第3期交野市地域福祉計画【概要版】平成28年3月発行

編集・発行 交野市福祉部福祉総務課
 交野市天野が原5-5-1 保健福祉総合センター内
 TEL 072-892-6400(代) FAX 072-895-6065
 メールアドレス hukusi-soumu@city.katano.osaka.jp
 ホームページ http://www.city.katano.osaka.jp/



交野市産業PRキャラクター
おりひめちゃん

交野市地域福祉計画

～みんなで助け合う地域社会の実現をめざして～

概要版 2016～2020



か かわりあって
 た すけあい
 の びのび
 し あわせのまちづくり

地域福祉とは？

ちいきに関わる様々な人の力で、ふだんのくらしのしあわせを支え合う取り組みをいいます。すべての人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、法律や制度による公的なサービスだけでなく、地域のみんが、お互いに助けたり、助けられたりする関係や、地域に関わるすべての人が行政や専門機関と協働して、支援を必要としている人を支えていく地域福祉の仕組みづくりが、今、とても重要となっています。

多くの市民や関係者の意見を反映して計画を作りました

できるだけ多くの市民や福祉関係者の意見を計画に反映させるため、市民アンケート、関係団体等アンケート、地域懇談会などを実施しました。

また、社会福祉協議会で策定する「第3期地域福祉活動計画」との連携を強化するため一体となって調査し、計画策定を行いました。

地域福祉計画推進審議会	地域福祉活動計画策定・推進委員会
虹色ネットワーク会議	
市民アンケート	2000件配付 回収率 45.8%
関係団体等アンケート	68団体配布 回収率 63.2%
地域懇談会	市内10小学校区(12地区)
パブリックコメント	12月21日～1月21日

4つの基本目標を定めました

- 基本目標1 地域のつながりをつくる**
 住民が、地域とつながることの喜びを感じ、地域とつながることで、様々な生活課題を発見できる仕組みづくりをめざします。
- 基本目標2 ふだんの暮らしを地域で支え合う**
 地域住民と専門職がつながり、課題が深刻化する前に発見し、支え合えるための重層的な地域福祉のセーフティネットの構築をめざします。
- 基本目標3 安全・安心な地域をつくる**
 誰もが安心して暮らせるよう、地域福祉の視点から福祉のまちづくりを推進し、安全・安心な地域づくりをめざします。
- 基本目標4 地域福祉の担い手をつくる**
 学習や地域活動への参加促進をはじめとする取り組みにより、地域福祉の担い手や、活動の中心的な役割を担うリーダーやキーパーソンの育成をめざします。

目標を達成するために6つの基本方針をかけた、取り組みをすすめます

基本方針 1 福祉のこころを育みます

みんなでめざすべき姿

- 様々な困難を抱える人の人権を尊重し、思いやりのこころを持つ人が増えています。
- 「地域福祉」の大切さを理解する人が増えています。

市の役割

- 1 人権意識や福祉のこころを育む広報啓発の充実
- 2 人権や福祉に関する学習・教育の推進

みんなの役割

- 市民は、積極的に福祉講座等に参加し、福祉への理解を深めます。
- 地域は、交流を通して、子どもや高齢者、障がいのある人等が地域でともに暮らしていくための理解の促進を図ります。



基本方針 2 困りごとをキャッチし、支え合うしくみをつくります

みんなでめざすべき姿

- 地域のつながりを強め、近所づきあいや日常的な見守り活動を通して、住民のちょっとした変化・異変に気づき、必要な支援につなげています。
- 地域と専門職、福祉施設、関係団体、社会福祉協議会、行政等が連携・協働して、住民が抱える課題の深刻化を防ぐ取り組みがすすんでいます。

市の役割

- 1 あいさつ・見守り・声かけ活動の促進
- 2 住民同士が交流できる場づくり
- 3 総合的な相談支援体制の充実
- 4 地域において、ちょっとした困りごとをサポートする体制づくり
- 5 地域福祉のセーフティネットの構築

みんなの役割

- 市民は、いざという時に「ちょっと助けて」と言える近隣関係を、普段から築きます。
- 地域は、あいさつ・見守り・声かけ活動やサロン活動などの住民が交流できる機会や場づくりを充実し、地域のつながりを強めます。
- 地域は、様々な活動や行事を通して、住民の変化や異変に気づき、適切な支援への橋渡しをします。



基本方針 3 日常生活の自立を支援します

みんなでめざすべき姿

- 制度の狭間の課題に、みんなで協力して取り組んでいます。
- 地域ぐるみで、健康づくりや生きがいがづくりに取り組んでいます。

市の役割

- 1 生活困窮者への支援の充実
- 2 権利擁護に関する支援の充実
- 3 介護予防や生活支援の充実

みんなの役割

- 市民は、健康づくりや生きがいがづくりに活動に、積極的に参加します。
- 地域は、日常の見守りを行い、高齢者や児童に対する虐待やDVを早期発見し、適切な機関につなぎます。



基本方針 4 災害に強い地域をつくります

みんなでめざすべき姿

- 市民一人ひとりの防災意識や地域の防災力が高まっています。
- 非常時や緊急時に、地域で助け合う体制が整っています。

市の役割

- 1 防災に関する知識の普及啓発
- 2 地域の自主防災活動の促進
- 3 災害時の支援体制の整備 (おりひめ支え愛プロジェクトの推進)



みんなの役割

- 市民は、日頃から防災に関する知識を習得し、非常持ち出し袋を準備するなど、非常時に備えます。
- 地域は、避難訓練、避難所運営訓練、防災に関する学習・啓発を行い、地域の防災力・減災力を高めます。
- 地域において、災害時に避難行動要支援者を支援する体制を整えます。

基本方針 5 防犯・安全活動を広げます

みんなでめざすべき姿

- 地域ぐるみで、子どもを犯罪や事故から守る見守り活動が展開されています。
- 子どもや高齢者自身が、犯罪や交通事故に対する知識や対応能力を身につけています。

みんなの役割

- 市民は、外出時の隣近所への声かけ、防犯ブザーの携帯など防犯意識を高めます。
- 地域は、日常の見守り活動や防犯灯の設置、高齢者等に犯罪に対する注意喚起や被害情報の提供を行うなどにより、犯罪が起りにくい環境づくりに努めます。



市の役割

- 1 地域における防犯活動の促進
- 2 交通事故対策の推進

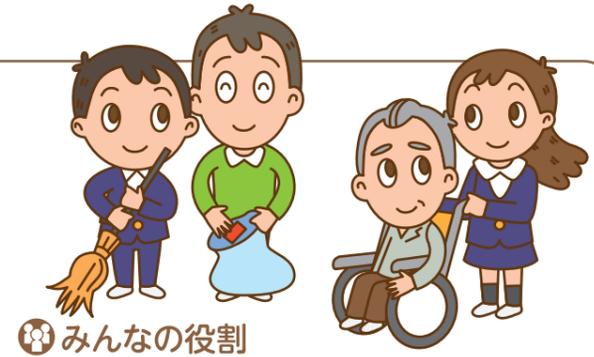
基本方針 6 地域福祉を担う人材を発掘し、育てます

みんなでめざすべき姿

- 福祉活動に参加する体制が整い、多くのボランティアが活躍しています。
- 住民、福祉事業者、企業、商店など、みんなが一緒になって地域福祉活動を行っています。

市の役割

- 1 地域福祉の担い手の確保
- 2 多様な活動機会の充実
- 3 担い手が活動しやすい環境づくり



みんなの役割

- 市民は、講座や研修に参加し、地域での福祉活動やボランティア活動などについて関心を深めます。地域での福祉活動やボランティア活動に積極的に参加し、体験を周囲に伝えます。
- 地域は、若い世代、定年退職者、元気な高齢者などが地域と関わる機会を創出し、地域の福祉活動に参加するきっかけづくりを行います。